



## はじめに

---

- 従来の日本語研究では、汎用性が高い表現や文型に焦点が当てられていた。
- 個別語・個別表現を詳細に検討することによって、今まであまり注目されていなかった知見が得られる可能性がある。



## まとめ

---

- 大規模コーパスやネット上の例文を検索することによって、網羅的に例文を集めることが出来る。
- 大量をデータを処理するには適切な枠組みを持つ必要と鋭い洞察力を持つ必要がある。
- 無意識に用いているように見える例の裏にあるシステムを意識化する能力が必要。



# まとめ

---

- 「つくる」の場合にはレトリックが文法的な制限を破ることが出来るという理論的に重要な現象を明らかにすることが出来た。